

横浜市立高田中学校 池尻 碧 先生

今回は、定期試験等でデジタル採点ソフト「採点ナビ」をご活用いただいている横浜市立高田中学校の池尻碧先生にお話を伺いました。

インタビュー日 2020年8月4日



実際に先生になるまで、テストの採点がこんなに大変な仕事とは思いませんでした。

—— まずは池尻先生の自己紹介からお願いいたします。

教員になってから今年で2年目です。わからないことが多い中で、「2年目の自分でもできることは何か」をいつも考えながら行動しています。教科は理科、部活担当はバスケットボールで、今年からクラス担任を任されています。デジタル採点ソフトの採点ナビを最初に使ってみたのは昨年ですので、まだ1年目の時期になりますね。



—— 最初は校長先生にソフトをご紹介したのですが、池尻先生が先頭に立って使っていただいた理由を教えてください。

校長先生から指名していただきました。私が情報担当だったからかもしれませんが、担当教科が理科とはいえ生物系だったので、もともとパソコンにそれほど詳しいわけではありませんでした（笑）。でも、パソコンを使うのは割と好きな方なので、抵抗はなかったですね。

ソフトを初めて使ったのは1年目の秋で、定期試験を手で採点した経験は2回くらいでした。それでも、私にとっては慣れない中で行った150人分の手採点はとても大変な仕事で、小さい文字を見ながらのまる付けはすごく肩が凝り、本当に疲れましたね。最初だからと思い、かなり気をつけて合計点の計算をしたつもりでしたが、見直しをしたら足し算間違いが10人くらいありました。月・火・水で試験を実施したら、木曜日には返さないといけないという時間的なプレッシャーも影響したかもしれません。

—— デジタル採点のようなツールがあることをご存知でしたか？

いいえ、全く知らなかったので、最初は「こんなソフトがあるんだ！」と驚きました。よくこんな便利な仕組みを考えたなあ、と。

—— お忙しい先生方にとっては、「これを使えば採点が早くなる」と言われても、ソフトを覚えるのは大変だな……という気持ちが先行してしまうケースも多いのですが、池尻先生はいかがでしたか？

私の場合は1年目で手採点に慣れていなかったこともあり、そんなことはなかったです。それと、もう私は手採点は一生やりたくない！くらいに思っていたので……（笑）、そちらの方がモチベーションになったのかもしれないですね。

学生の時先生事務系の仕事の中で採点というものを全然意識していなくて、ノートチェックなどの方が自分の中では強いイメージがありました。また教育実習の時もテスト期間ではなかったので、「試験採点」の実情を知らなかったのです。実際にやってみたらかなり大変だったので、「もっと効率的に採点したい」という気持ちが強かったのが、スムーズに使い始めることができた理由ですね。

「これは、慣れてくればすごく楽になるな」と最初に使って実感しました。

—— 最初に使っていたときの状況と感想を教えてください。

2学期冬の定期試験から使ってみました。最初の印象は、やっぱり覚えにくいいけないことも多いし設定が大変だな、と思いましたが、これは慣れていけば楽になるな、ということは実感しました。

先ほどお話ししたように、手で採点することになりマイナスのイメージがあったので、余計にそう思いましたね。そのため自分の採点のやり方がすでに確立されている先生方よりは、これからの期待感の方が強かったかもしれません。

—— 理科は選択肢問題が多いというイメージがあるのですが。

そうですね。記述式問題は各分野で「これを確認しないと」という内容が決まっているので、それ以外は基本的に選択肢問題でよいというスタンスがあるからかもしれません。選択肢問題は、もちろんA I採点機能を使っていますが、途中でバージョンアップしてもらった後のほうが認識率が高かったですね。大問ごとにABCで答える問題とアイウで答える問題と分けて作問していますので、英字やカタカナ、数字など色々な選択肢を使いました。そして次に使ったのが3学期の学年末試験でしたが、設定に慣れてきたこともあり、A I採点は本当に楽で、もう全問A I採点にしたいなと思いました（笑）。まあそういうわけにもいかないですけどね。

—— 2回目に使った時は1回目より時間短縮できましたか？

はい。2回目の方が採点時間が短くなりました。かんたんモードでも先に設定できる機能が追加されて、採点前に全て設定ができるようになりましたよね。その分、より効率的になった印象があります。ただ、先生方からは、「最初に使った直後には次は楽になるなと思っていたのに、次に使う時にはもう使い方を忘れてしまっていた」という意見がありました。正直、私も思い出し思い出しながらの2回目でした。実際には何回か使って定着していくと、それに比例して楽になっていくのかなと思いますね。

数日間かかっていた定期試験の採点を、 1日で終わらせることができるようになりました！



「採点ナビ」で一番効果があったと思うことは何でしょうか？

一番、というよりは複数あるのですが、まずは採点時間の短縮です。採点にかかる時間を期待通り短くすることができました。次に、合計点の計算です。手採点のときにすごく苦戦した分、合計点の計算をしなくてよくなったのは本当にありがたいです。

手採点していた時は、生徒の解答用紙に点数を出して、それを一旦自分の手元に書き写して、そこからデータとして打ち込むという作業がありました。何段階もテストの点数を管理しなければならなかったのですが、採点ナビを使うとそれが自動的にデータになっていますよね。大変な作業が、軽減どころか完全になくなりましたので、それがとても大きかったと思います。

手採点と比べてどのくらい時間短縮になりましたでしょうか？

手採点の時は何日かに分けて採点していたのですが、今年の夏の定期試験は1日で2学年分終わらせることができました。ちょっと夜は遅くなってしまいましたが……（笑）。いつも翌朝までかかっていた採点その日のうちに終わったという先生もいます。ちなみに、肩も凝らなくなったことも、採点ナビの効果だと思いますね。

池尻先生以外の先生方からのご意見は何かありますか？

英語科の先生から、こういう使い方はどうかな？といった相談を受けるようになりました。その都度、私も一緒に考えながらアドバイスさせてもらっています。

最近では、今回のコロナによる休校期間が明けたあとの確認テストで使用されていました。これは生徒の定着度を簡単に確認するためのテストで、2択で50問くらいの内容でしたので、「それは採点ナビでやりやすいと思いますよ」とお薦めしました。実際、使ってみてとても感動されていましたよ。

採点が終わって、採点ナビから印刷される「返却用個票」を初めて返却した時の生徒さんの反応はどうでしたか？

生徒には、最初仰々しく「今回の試験の一部はAIで採点しました」と言ったら「え？AIって何ですか！」という感じでザワザワしていました。そんなふうに軽く説明して返却したら、自分の返却用個票を見て「おお〜」という感じで面白がっている生徒が多かったですね。

また、その前までの試験採点が私が苦勞していたのを知っていたのか、「先生よかったね」と言ってくれる生徒もいました。

____他に、使っていただいた後の感想はありますか？

やはり時間短縮とミスが減ることがメインの感想なのですが、個人的な感覚として、私は手で書くよりもパソコンを触っていた方が楽しいタイプなので、憂鬱な手作業がなくなったことが嬉しかったですね。言葉を書くなら心がこもっているなどの利点がありますが、採点という作業はそこから一番乖離している作業だと思いますので、私が担当している理科でいえば、採点ナビを使ったパソコン採点の方が向いていると思います。

____今後、採点ナビに期待する機能などはありますか？

最近ずっと、タッチペンとタブレットで採点ができるようになったらいいなと思っています。キーボードとマウスでやっていることに追加して、この問題だけは手書きで、というのができると可能性が広がるし、数学科の先生方の利用率も上がるのかなと思います。

また、最終的には小学校からの成績データを全部集めて、その生徒の今までの得意なところや苦手なところを全部把握することができるようになると思います。

他には、各教科の点数が一覧にまとめられていて、個人面談の時に「前回のテスト結果はこうでしたよね」と確認するために使える機能もあると便利ですね。



____最後に、横田校長先生にもご同席いただき、ご意見を伺いました。

採点ナビのような仕組みが学校に浸透していくことは、大きな意味があると思います。

(横田校長先生)

____横田校長先生が、最初にソフトを使っていたメイン担当に池尻先生をご指名された理由を教えてください。

池尻先生はICTのセンスがよくて、新しいツールなどへのキャッチアップ能力に優れているんです。それだけではなく、リーダー的な先生方に助けてもらいながらやっていける人望もあります。それが理由ですね。大学を出たばかりの新しい先生はもうパソコンで作業することが当たり前の感覚なので、採点ナビのような仕組みが浸透していくことは、学校の将来を考えていく中でとても意味があることだと思います。

採点ナビはバージョンアップのスピードが速いですね。

今後ですが、観点別採点結果の点数と子どもたちの学習の達成状況を採点ナビで確認でき、今後の指導に生かされると良いなと思います。

また、スタディ・ログ活用面などの機能アップも多いに期待しています。

____池尻先生、そして横田校長先生、今日はお忙しいところ貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。